

福祉保健部健康対策課

1 母子保健事業

(1) 母子健康手帳交付

妊娠届等より交付 1,210 件

(2) 母子保健推進員活動

母子保健事業の一環として米子市内の助産師等有資格者と委託契約を結び、次のとおり事業を推進した。

ア 母子保健推進員 15 名

イ 推進員による家庭訪問及び指導

訪問事業名	件数	指導内容	件数
新生児及び乳児指導	799 件	母子保健の問題点の把握	1,586 件
妊婦及び産婦指導	787 件		

(3) 妊婦健康診査

妊婦の方に対し、妊婦健診の公費助成を一人あたり、上限 14 回実施した。

ア 妊婦一般健康診査

(7) 受診票交付者数 1,205 人

(4) 受診者数及び受診結果

	受診者数	受診結果	
		異常なし	異常あり
第 1 回目	1,130 人	1,047 人	83 人
第 2～5 回目、第 8～14 回目	10,552 人 (延べ人数)	9,579 人	973 人
第 6 回目 (ヒト T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1) 抗体検査を含む)	1,093 人	918 人	175 人
第 7 回目 (B 群溶血性レンサ球菌 (GBS) 検査を含む)	997 人	858 人	139 人
クラミジア検査 (1 人あたり 1 枚交付、第 1～14 回目のいずれかの受診票と使用)	1,142 人	1,131 人	11 人

※「異常あり」には、妊娠貧血、骨盤位等含む。

(7) B 型肝炎母子感染防止事業

B 型肝炎ウイルスキャリアの早期発見をし、母子感染を未然に防ぐことに努めた。

受診者数	陽性者
1,130 人	2 人

(エ) 子宮頸部がん検診(平成 20 年度から実施)

子宮頸部がん検診により、子宮頸部がんの早期発見に努めた。

受診者数	要精検
1,129 人	44 人

イ 多胎妊娠妊婦健康診査

多胎妊娠妊婦の方に対し、妊婦健診の公費助成を 5 回追加実施した。

受診票交付者数	受診者数 (延べ)	受診結果 (延べ)	
		異常なし	異常あり
26 人	3 人	3 人	0 人

(4) 産後健康診査

産後健康診査の公費助成を一人あたり、上限2回実施した。

ア 受診票交付者数 1,206人

イ 受診者数及び受診結果

	受診者数	受診結果			
		異常なし	経過観察	要精検	要治療
1回目	1,041人	893人	142人	4人	2人
2回目	880人	785人	92人	1人	2人

(5) 乳児一般健康診査

3～4か月児及び9～10か月児を対象に乳児一般健康診査受診票を交付し、医療機関に健康診査を委託し実施した。

ア 受診状況

	受診票交付数	受診者
3～4か月児	1,231人	1,135人
9～10か月児	1,281人	1,077人

イ 受診結果

	異常なし	要精密	要経過観察	要治療	既治療
3～4か月児	1,014人	20人	29人	16人	56人
9～10か月児	956人	19人	42人	9人	51人

(6) 妊婦一般健康診査費用助成金制度

里帰り出産などの理由で、本市に住民票を置いたまま、委託外医療機関又は委託外助産所において妊婦健診を受ける場合に、市の定める助成金を上限として健診費用を助成した。

対象人数	助成金額
78人	2,161,650円

(7) 産後健康診査費用助成金制度

里帰り出産などの理由で、本市に住民票を置いたまま、委託外医療機関又は委託外助産所において産後健診を受ける場合に、市の定める助成金を上限として健診費用を助成した。

対象人数	助成金額
105人	440,900円

(8) 6か月児健康診査

6か月児を対象に健康診査を行い、心身障がいや先天的な心臓疾患・整形外科的疾患などの早期発見や適切な治療・指導に努め、併せて育児不安の強い母親に対しての育児相談や離乳食・口腔衛生指導を行った。

また、絵本の読み聞かせによる子どもと保護者との触れ合いの促進等を目的にブックスタートを実施した。

ア 受診状況 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～6月の6か月健康診査は中止し、相談会を実施した。

対象者	受診者	受診率
893人	868人	97.2%

イ 診断結果

異常なし	精検	要経過観察	要治療	既医療（観察中・治療中）
769人	7人	35人	3人	54人

(9) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に軽度の精神発達遅滞や視覚障がいや難聴などの異常を発見し、早期の治療、支援に結びつけた。言語や認知発達など子どもの素因と親からのかかわりなどの環境要因の双方に注目して、広汎性発達障がいや注意欠陥・多動性障がいなど社会性の障がいにつながる状態への早期支援や健康な生活習慣の獲得につながるよう歯科健診、口腔衛生指導、食事相談、育児相談等を行った。また、むし歯予防対策として希望者に対しフッ素塗布を行った。

ア 受診状況

区分	対象者	受診者	受診率
1歳6か月児健康診査	1,262人	1,251人	99.1%
精密健康診査	12人	9人	75.0%
歯科健康診査	1,262人	1,251人	99.1%
フッ素塗布	1,262人	1,182人	93.7%

イ 診断結果

異常なし	精検	要追跡観察	要治療	既医療(観察中・治療中)
1079人	12人	75人	1人	84人

必要な者39人に対して1歳6か月児事後健康診査を実施した。

(10) 3歳児健康診査

幼児期において身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である3歳児に対し、医師、歯科医師による総合的な健康診査を実施し、児童の健全な育成のために指導を行った。また、むし歯予防対策として希望者に対しフッ素塗布を行った。

ア 受診状況

区分	対象者	受診者	受診率
3歳児健康診査	921人	916人	99.5%
精密健康診査	98人	78人	79.5%
歯科健康診査	921人	915人	99.3%
フッ素塗布	921人	841人	91.8%

イ 診断結果

異常なし	精検	要経過観察	要治療	既医療(観察中・治療中)
591人	98人	140人	6人	81人

必要な者27人に対して3歳児事後健康診査を実施した。

(11) 5歳児よなごっ子健診

発達・社会性・集団の場面での課題がある児童の早期発見・早期支援を開始するための気づきの場となること、児童のより健全な育成のための支援に繋げ、保護者の就学への不安解消、児童への適切な対応や就学に向けての準備となることを目的に実施した。

ア 実施状況

(7) 一次健診

年度中に5歳に到達する全児童を対象とし、保護者へアンケート(SDQ)によるスクリーニング方式

区分	対象者	返送者数	割合
一次健診	1,359人	1,265人	93.1%

保護者の回答を3段階で評価(支援の必要性が「低い」「いくらかある」「ある」)、結果を全保護者に通知した。

区分		人数	割合
支援の必要性	低い	714人	56.4%
	いくらかある	255人	20.1%
	ある (相談希望なし)	225人	17.8%
	ある (相談希望あり)	70人	5.5%
未回答 (専門機関に通院中)		1人	0.08%

(4) 二次健診

一次健診の結果、支援の必要性あり、かつ相談希望がある児童・保護者に対し、医師相談、子育て相談、心理・発達相談、就学に向けての相談を実施した。保護者の希望がある場合は園の保育者も同席した。

区分	実施回数	参加者
二次健診	18回	65人(うち園の同席38人)

事後対応として、巡回相談、発達検査、医療機関紹介等を行い、継続的に支援している。

(12) 健康教育

区分	回数	延人員	備考
離乳食	24回	204人	5～6か月児と8～9か月児を対象に実施した。
のびのび親子教室	8回	120人	1歳6か月児健診の事後健診対象児とその保護者を対象に発達を促すための運動・助言・情報交換を行った。

(13) 健康相談

区分	回数	延人員	備考
マタニティー&ベビー相談(来所)	240回	327人	育児に関する相談及び妊婦に対する健康相談を実施した。 月～金曜日
マタニティー&ベビー相談(電話)	240回	414人	
赤ちゃんすくすく相談	9回	470人	育児、栄養、歯科等の相談を実施した。

(14) 家庭訪問

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	26人	0人	1人	27人
産婦	216人	1人	0人	217人
新生児	58人	2人	0人	60人
未熟児	15人	0人	0人	15人
乳児	335人	13人	5人	353人
幼児	149人	1人	68人	218人
その他	3人	0人	0人	3人
計	802人	17人	74人	893人

(15) 来所相談

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	23人	0人	0人	23人
産婦	21人	0人	0人	21人
新生児	3人	1人	0人	4人
未熟児	1人	0人	0人	1人
乳児	64人	40人	2人	106人
幼児	50人	3人	52人	105人
その他	1人	0人	25人	26人
計	163人	44人	79人	286人

(16) 電話相談

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	110人	1人	0人	111人
産婦	107人	0人	0人	107人
新生児	23人	0人	0人	23人
未熟児	5人	1人	0人	6人
乳児	391人	44人	4人	439人
幼児	559人	20人	64人	643人
その他	17人	0人	2人	19人
計	1212人	66人	70人	1,348人

(17) ケース会議

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	11人	0人	0人	11人
産婦	4人	0人	0人	4人
新生児	0人	0人	0人	0人
未熟児	0人	0人	0人	0人
乳児	4人	0人	0人	4人
幼児	26人	0人	6人	32人
その他	0人	0人	0人	0人
計	45人	0人	6人	51人

(18) 歯科衛生委託事業

鳥取県西部歯科医師会に業務委託し、歯科衛生士4名により次のとおり事業を実施した。

ア 1歳6か月児を重点とした歯科検診及び事後措置

イ 乳幼児及びその保護者に必要な保健指導及び予防活動

ウ その他口腔衛生の向上に必要な事業

(19) 不妊治療費助成事業

不妊治療に要した経費の一部を助成することによりその経済的負担の軽減を図り、妊娠及び出産を望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、治療費に対する助成を実施した。

区分	件数	助成金額
特定不妊治療	315件	11,366,304円
人工授精	80件	764,836円

(20) 未熟児養育医療費給付事業

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする1歳未満の赤ちゃんに対し、必要な医療の給付を行った。

件数	給付金額
24件	7,641,899円

(21) 産後ケア事業

産後4か月未満で、必要な支援が受けられず強い育児不安のある者に対し、委託産科医療機関等にて実施した。

	利用実績	利用実人数
ショートステイ	63日	15人
デイケア	15日	5人

(22) 産後ヘルプ事業

出産直後の産婦及び多胎で出産した乳児を養育する母親で、家事等の援助を行う者がいない家庭に対し、社団法人米子広域シルバー人材センターから産後ヘルパーを派遣し、産後の生活支援を実施した。

利用者数	総利用時間
3人	19.5時間

(23) はじめてばこ (neuvox) 事業

食品・生活用品を、赤ちゃんの生まれた希望する家庭に、鳥取県生活協同組合の協力を得て送付した。

件数
743件

(24) 新生児聴覚検査費助成事業

経済的な理由により新生児聴覚検査を受診することが困難な世帯に対し、新生児聴覚検査費の助成を実施した。

件数	給付金額
1件	5,500円

2 健康増進事業

令和2年度米子市高齢者保健福祉計画関連実績総括表

事業等名称	令和2年度実績	事業等名称	令和2年度実績	
健康教育 一般健康教育回数	316回	健康診査 米子市健診受診率	12.6%	
重点健康教育回数	15回		胃がん検診受診率	25.4%
健康相談 総合健康相談回数	218回		肺がん検診受診率	19.4%
重点健康相談回数	24回		大腸がん検診受診率	24.9%
訪問指導 訪問指導延べ人数	実績なし		子宮がん検診受診率	22.9%
		乳がん検診受診率	12.8%	
		ふしめ歯科検診受診率	1.7%	

(1) 健康教育

健康に関する知識の普及や啓発を目的に、保健センター又は地区において医師、保健師、栄養士等により、一般健康教育と病態別等の重点健康教育を開催した。

	開催回数	参加延人員	備考
一般健康教育	316回	5,158人	運動、食生活等
重点健康教育	15回	364人	病態別（糖尿病、高血圧、心臓病、肥満等）、 歯周疾患、骨粗鬆症、薬の話
計	331回	5,522人	

(2) 健康診査

米子市健康診査、肺がん検診、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診の受診券を1枚にまとめ、40歳、45歳、50歳、55歳の節目年齢の者、60歳以上の者、40歳以上の国民健康保険の加入者及び20歳以上の女性、過去4年間に米子市の受診券で受診したことがある方に送付した。

※がん検診の精密検査については、令和3年6月1日時点の人数とする。

ア 米子市健康診査

93の医療機関で7月から12月に実施した。

(ア) 受診状況

	米子市健康診査
対象者数	2,068人
受診者数	260人
受診率	12.6%

※ 対象は、40歳以上の生活保護世帯に属する者及び令和2年4月2日以降国保加入者

(イ) 受診者内訳

生活保護	202人
その他	58人

イ 肝炎ウイルス検査

健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、B型・C型肝炎ウイルス検査を実施した。

年齢階層	受診者数	異常なし	HBs抗原のみ陽性	HCV抗体のみ陽性	HBs・HCV陽性
40～49歳	306人	303人	2人	1人	0人
50～59歳	175人	172人	3人	0人	0人
60～69歳	333人	330人	2人	1人	0人
70歳以上	337人	325人	10人	2人	0人
計	1,151人	1,130人	17人	4人	0人

ウ 胃がん検診

検診車による集団検診及び59医療機関での個別検診を7月から12月まで実施した。

(7) 受診状況

区 分		受診者数	
集団検診 (X線検査)		306 人	
個別検診	X線検査	205 人	10,916 人
	内視鏡検査	10,711 人	
計		11,222 人	

(4) X線検査結果

区分	受診者数	異常なし	要精密者	精密検査 受診者	精密検査受診結果			
					異常 なし	がんの 疑い	がんで あった者	その他
集団検診	306 人	281 人	25 人	22 人	5 人	0 人	0 人	17 人
個別検診	205 人	188 人	17 人	14 人	2 人	0 人	1 人	11 人
計	511 人	469 人	42 人	36 人	7 人	0 人	1 人	28 人

(7) 内視鏡検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
10,711 人	2,101 人	21 人	26 人	8,563 人

エ 子宮がん検診

検診車による集団検診と12医療機関で7月から1月に実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	要精密者数
頸部	7,379 人	174 人
体部	387 人	9 人

※「要精密者数 (頸部)」は、一次「要精密 (1)」+「要精密 (2)」+「判定不能のうち再検を実施しない者」+「判定不能」

(4) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
頸部	125 人	53 人	47 人	1 人	24 人
体部	8 人	4 人	1 人	3 人	0 人

オ 乳がん検診

マンモグラフィ併用検診の方法で6医療機関と2検診機関 (集団検診) で7月から1月に実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	要精密者数
マンモ併用検診	3,541 人	303 人

(4) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
マンモ併用検診	290 人	119 人	0 人	33 人	138 人

カ 肺がん検診

集団検診は、結核健康診断に併せて実施した。個別検診は人間ドックを7月から12月、それ以外を10月から12月に実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	X線のみ	X線+喀痰	要精密者数
集団検診	1,597 人	1,544 人	53 人	49 人
個別検診	6,966 人	6,660 人	306 人	334 人
計	8,563 人	8,204 人	359 人	383 人

(イ) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
集団検診	45人	26人	1人	0人	18人
個別検診	281人	140人	4人	5人	132人
計	326人	166人	5人	5人	150人

キ 大腸がん検診

90医療機関で7月から12月に実施した。

(ア) 受診状況

受診者数	要精密者数
11,007人	1,119人

(イ) 精密検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
767人	216人	1人	45人	505人

ク 肝臓がん対策事業

B型・C型肝炎ウイルス陽性者に対し年一回の定期検査の勧奨を行った。

区分	対象者数
B型肝炎ウイルス陽性者	577人
B型・C型肝炎ウイルス陽性者	5人
C型肝炎ウイルス陽性者	156人

ケ ふしめ歯科検診

40歳、50歳、60歳、70歳のふしめ年齢の者を対象とし、西部歯科医師会委託医療機関で実施した。

対象者	受診者数
7,955人	137人

(3) 健康相談

保健センター、各地区公民館において保健師、看護師、栄養士等による健康相談を実施した。

区分	回数	延人員
総合健康相談	218回	996人
重点健康相談	24回	85人
計	242回	1,081人

(4) 訪問指導

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実績なし。

3 介護予防事業

(1) フレイル対策推進事業

令和元年度より、フレイル状態の進行抑制と改善を通して健康寿命を延伸することを目的に、永江地区をモデルにフレイル対策を開始している。尚徳地域包括支援センター、なんぶ幸朋苑と共同実施。

ア フレイル予防サポーター養成講座

令和元年度に実施した「フレイル度チェック（基本チェックリスト）」で「健康」に該当した者のうち希望者が参加。7月に3回シリーズで開催し、講座修了後は、介入支援教室及び元気度チェック結果返し会等の補助をしてもらった。11人が参加した。

イ 介入支援教室

令和元年度に実施した「フレイル度チェック」で「プレフレイル」「フレイル」に該当した者のうち希望者が参加。

(ア) 実施期間 8月～11月 3カ月（週1回×2時間）を1クールとして開催

(イ) 参加者 7人

ウ 元気でのお会

令和元年度の介入支援教室参加者（卒業生）を対象に体力測定及び交流会を開催。

1期卒業生（17人中13人）、2期卒業生（22人中8人）が出席。

エ フレイル度チェック

永江地区在住の64歳以上の者（要介護1～5の者は除く）を対象に実施

(7) 実施状況

対象者数	実施者数	実施率
911人	497人	54.6%

(i) 実施結果

健康	プレフレイル	フレイル
61%	25%	14%

(2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

生活習慣病対策・フレイル対策・介護予防を一体的に実施し健康寿命の延伸を図るため、令和2年度より鳥取県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組んでいる。日常生活圏域（11中学校区）に配置した地区担当保健師を中心に医療専門職や地域包括支援センターと連携して事業を実施した。

ア ポピュレーションアプローチ（各地区の通いの場等でフレイル予防啓発）

各種地域組織会、サロン、公民館講座、「出張！なんでも健康相談（令和2年9月から29公民館で月1回、半日開催）」等でフレイル予防についての普及啓発及びフレイル度チェック（基本チェックリスト）等を実施。

(7) 実施状況

フレイル説明・体操等実施（延べ）	参加人数（延べ）	フレイル度チェック実施人数（実）
320回	2,534人	819人

(i) フレイル度チェック実施結果

健康	プレフレイル	フレイル
54%	29%	17%

イ ハイリスクアプローチ（個別的支援）

対象者に対して地区担当保健師及び地域包括支援センター職員が訪問を実施。必要に応じて医療の受診勧奨や栄養指導、地域包括支援センター等と連携した。

対象①：生活習慣病重症化予防対象者 31人（令和元年度に健診を受けて要治療だったが未治療の者）

対象②：過去4年間、健診及び医療未受診者 251人（介護保険利用者除く）

(7) 対象者数

	① 生活習慣病重症化予防	② 健康状態不明者
東山	3人	24人
湊山	0人	15人
福生	1人	25人
福米	1人	23人
後藤ヶ丘	4人	46人
加茂	2人	23人
美保	1人	12人
弓ヶ浜	4人	16人
尚徳	11人	25人
箕蚊屋	2人	26人
淀江	2人	16人
合計	31人	251人
備考	※1 死亡1件 ※2 介護保険利用者含む	※3 死亡、転出等にて対象外14件 ※4 介護保険利用者除く

(イ) 個別支援（フォロー）を実施した人数（延べ）

医療受診勧奨	健診勧奨	保健指導紹介	包括支援センター紹介
13 人	99 人	0 人	111 人

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）

65 歳以上を対象に運動機能の向上及び地域活動支援を行った。

ア がいなみっく予防トレーニング

一人につき運動指導を3か月間、週1回実施。

利用延人数	開催会場数
3,192 人	12 ヶ所

イ ふらっと、運動体験

運動習慣のきっかけ作りとして定期的に開催した。

利用延人数	開催会場数
1,830 人	3 ヶ所

ウ ショッピングリハビリ

自力で買い物ができない方に買い物支援と併せて運動指導を行った。

利用延人数	開催会場数
912 人	5 ヶ所

エ 地域リハビリテーション活動支援

リハビリテーション専門職を地域の通いの場や対象者の自宅へ派遣し、講義や実技アドバイスをを行った。

支援回数
10 回

オ 健康づくり・やって未来や塾

地域で取り組むサロン等に運動指導者を派遣し、継続的、効果的な活動につながるよう支援した。

支援回数	開催会場数
83 回	32 ヶ所

カ 健康づくり・地域サポート講座

健康づくりを地域ぐるみで取り組むための人材育成を行った。

参加延人数	開催回数
211 人	5 回

キ 介護予防地区講座

介護予防に関する知識の普及や啓発のため、医師、薬剤師、リハビリテーション専門職、健康運動指導士等により公民館にて講座を開催した。

参加延人員	開催回数
613 人	29 回

(4) 地方創生臨時交付金助成事業

ふらっと、湯ったり健幸習慣

コロナ過における外出自粛による運動不足の解消やストレス発散、フレイル予防として温泉施設で集団での運動指導を行った。

利用延人員	開催回数
400 人	22 回

(5) 鳥取県後期高齢者医療制度特別対策補助金

健口機能向上事業

後期高齢者に対し、集団での口腔歯科健診を実施するとともに、ミニ講演や予防体操などの健康教育を行った。

利用延人数	開催回数 (7会場)
143人	14回

4 健康づくり事業

(1) 栄養改善

ア 生活習慣病予防

一般住民を対象に、管理栄養士が生活習慣病予防の食事指導と試食を行った。

30箇所 受講生 180人

イ 男性のための健康づくり&クッキング教室

一般住民を対象に、男性のための！健康づくり&クッキング教室を開催した。

高齢化社会を迎え、男性も自分を含め、食事のあり方及び生活習慣病予防の食事について勉強する。

講話（バランス食、減塩食等）と調理実習を開催した。

10回実施 参加延人数 155人

(2) 保健推進員活動事業

市が行う保健事業の円滑な推進と、市民の健康づくりを積極的に取り組むため、米子市地区保健推進委員会を設置し、次の事業を行った。

ア 各種健康診査、健康相談等の受診勧奨並びに介助に関すること

イ 保健衛生意識の啓発及び普及並びに各種健康教育の案内に関すること

ウ 設置状況

29地区 602人

(3) 住民組織育成事業

食生活推進員への料理講習や母と子の食生活共同体兼事業、食生活改善推進員教育として各校区二人ずつ1年間教育を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(4) 医療リテラシーの推進

医療リテラシーの考え方を広く市民へ普及させるため、秘書広報課と連携して広報活動を行った。

(5) 健康づくりに関する知識の普及

ゴミ分別収集カレンダー&健康ガイドを環境政策課と合同で作成し全世帯に配布した。

5 一般保健事業

(1) 献血推進事業

各事業所、団体等の協力により献血を実施した。（現在、赤十字血液センターの方針として、全血献血（400mL）を主にこなっている。

献血方法	献血者数
全血献血(400mL)	1,838人

(2) 救急医療対策事業

鳥取県西部医師会が行う急患診療所運営費事業に対し、補助金を交付した。

ア 名称 西部医師会急患診療所

イ 所在地 米子市久米町136 西部医師会館内

ウ 運営主体 (社) 鳥取県西部医師会

エ 診療日及び診療時間

休 日 : 71 日

日曜日、祝日、12月30日～1月3日 午前9時～午後10時

平日夜間 : 294 日

上記以外の日 午後7時～午後10時

オ 受診者数 延 1,767 人 (内 米子市 1,359 人)

(3) 休日救急歯科診療等事業費補助事業

ア 障がい者 (児) 歯科診療事業

鳥取県西部歯科医師会が行う障がい者 (児) の歯科診療事業に対し、補助金を交付した。

受診者数 延 343 人 (内 米子市 234 人)

イ 休日救急歯科診療事業

休日救急歯科診療業務を鳥取県西部歯科医師会に、委託実施した。

受診者数 延 669 人 (内 米子市 451 人)

(4) 公衆浴場助成事業

公衆浴場の存続を図り地域住民の保健衛生の向上のため、公衆浴場確保対策補助金を3事業者に助成した。

(5) 健康フェスティバル事業

市民の健康増進への関心の高揚を図るため「米子市ふれあい健康フェスティバル」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(6) 自死対策事業

普及啓発活動に取り組み、自死予防の意識の向上を図るため各種事業を実施した。

ア 健康講話による啓発

市民を対象に保健師による講話 (6回) 延べ183人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康講話を一部中止した。

市職員を対象としたゲートキーパー研修 (1回) 56人

イ 自殺予防週間における街頭キャンペーン、啓発用Tシャツを職員着用、各種事業でポケットティッシュ配布

ウ 広報よなごに掲載 (年1回)、米子市ホームページに掲載 (3月)

エ パンフレットラック設置 (保健センター、イオン米子駅前店、米子市立図書館)

オ 成人式配布物へ『とっとりSNS相談事業 (LINE)』チラシの同封は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期

カ 自死遺族の集い (主催 : 精神保健福祉センター)

ふれあいの里にて2か月に1回開催

6 感染症予防対策事業

(1) 予防接種

ア こどもの予防接種

予防接種委託医療機関で実施した。

種 別		対象者数	接種者数	種 別	対象者数	接種者数	
ロタウイルス ワクチン※	1 価	1回目	1,189人	水痘	1回目	1,254人	
		2回目	1,189人		2回目	1,254人	
	5 価	1回目	1,189人	日本脳炎	1 期	1回目	1,297人
		2回目	1,189人			2回目	1,297人
		3回目	1,189人			追加	1,343人
			2期		1,298人		
ヒブワクチン	1回目	1,189人	1,148人	麻しん風しん 混合ワクチン	1期	1,254人	
	2回目	1,189人	1,175人		2期	1,378人	
	3回目	1,189人	1,228人	麻しん ワクチン	1期	1,254人	
	4回目	1,229人	1,355人		2期	1,378人	
小児用肺炎球 菌ワクチン	1回目	1,189人	1,150人	風しん ワクチン	1期	1,254人	
	2回目	1,189人	1,165人		2期	1,378人	
	3回目	1,189人	1,188人	BCG		1,189人	
	4回目	1,229人	1,275人			1,198人	
百日せきジフ テリア破傷風 混合不活化ボ リオワクチン	1 期	1回目	1,189人	B型肝炎	1回目	1,189人	
		2回目	1,189人		2回目	1,189人	
		3回目	1,189人		3回目	1,189人	
		追加	1,229人	1,324人	子宮頸がん 予防ワクチン	1回目	623人
			2回目	623人			
ジフテリア 破傷風混合 ワクチン	2期	1,406人	1,143人		3回目	623人	
						68人	

イ ロタウイルスワクチン接種

※令和2年10月より定期接種となった。

同学年での免疫力の平準化を図るため、令和2年4月2日から令和2年7月31日生まれの児に限り、任意で接種したロタウイルスワクチン接種の費用を全額又は一部助成した。

件数	助成金額
379件	10,120,520円

ウ 高齢者のインフルエンザ予防接種

予防接種委託医療機関（米子市、境港市、西伯郡、日野郡）で実施した。

対象者	接種者数
43,172人	30,170人

エ 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種

予防接種委託医療機関（米子市、境港市、西伯郡、日野郡）で実施した。

対象者	接種者数
6,162人	1,720人

オ おとなの風しんワクチン接種

妊娠を希望する女性と妊婦の夫が風しんワクチン（麻しん風しん混合ワクチンを含む。）を接種した場合、接種費用の全部又は一部を助成した。

件数	助成金額
138件	1,020,100円

カ 風しん追加的対策

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性(16,743名)を対象に無料で、風しんの抗体検査・予防接種を実施した。

昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性(9,039名)を対象に無料クーポンを、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のうち未検査の者を対象に勸奨ハガキを発送した。また、市報などで検査・接種勧奨を行い、クーポン紛失者で接種希望するものにはクーポンを再送付した。

抗体検査	予防接種
2,081人	464人

(2) 結核健康診断

集団検診として、市内2会場で14日間にわたり実施し、受診者数は1,151人であった。(65歳以上を計上)うち、精密検査対象者は49人で、肺結核者は0人であった。また、人間ドックでの胸部撮影者は4,222人であった。

(3) 消毒液等散布

大雨等による床下浸水等への対応：なし

7 新型コロナウイルス感染症関係

(1) 新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症本部対策会議を計13回開催し、全国的な感染状況及び本市における感染状況の共有と対応策を協議した。また、市のホームページなどで感染予防の啓発活動を行った。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルスワクチンの住民接種を実施するため、令和3年1月22日に「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を設置した。

8 地域保健活動関係

市内11中学校区に1名ずつ地区担当保健師を配置し、公民館や地域の活動の場で健康相談を行うなど地域の市民の健康づくりを支援した。また、医療専門職や地域包括支援センター連携し、フレイル予防啓発活動や生活習慣病重症化予防対象者へ個別訪問を行った。

9 米子市福祉保健総合センター関係

(1) 会議室等使用状況

会議室等	使用件数	使用人員
大会議室(大会議室ビデオプロジェクター使用)	124件(0件)	6,895人(0人)
中会議室	48件	1,926人
第一会議室	217件	3,780人
第二会議室	217件	3,765人
第三会議室	165件	3,024人
研修室1	279件	4,410人
研修室2	230件	2,056人
福祉団体活動室	163件	2,378人

(2) カーゲート運用

ふれあいの里駐車場カーゲートを運用する一般財団法人米子市開発公社へ運営費補助金を交付した。

(3) 修繕工事等

修繕内容	金額
本館系空調用冷温水器(1号機・3号機)修繕工事	1,870,000 円
1階活動室系統マルチエアコンの室外機修繕工事	264,000 円
大会議室系統冷却塔ファンモーター取替工事	638,000 円
高圧受電設備取替交換工事	693,000 円
非常用予備発電装置修繕工事	544,280 円
本館系空調用冷温水器(1号機)溶液回収処分業務	693,000 円
事務室換気扇修繕	91,300 円